

所沢市財政トークス

第3号「21年度当初予算」

所沢市財務部財政課発行

平成21年6月

～平成21年度当初予算についてお知らせします～

■平成21年度当初予算総額は1,500億3,965万円となりました

■内訳

□一般会計予算額は831億円

□特別会計予算額は562億1,210万円

□事業会計予算額は107億2,755万円



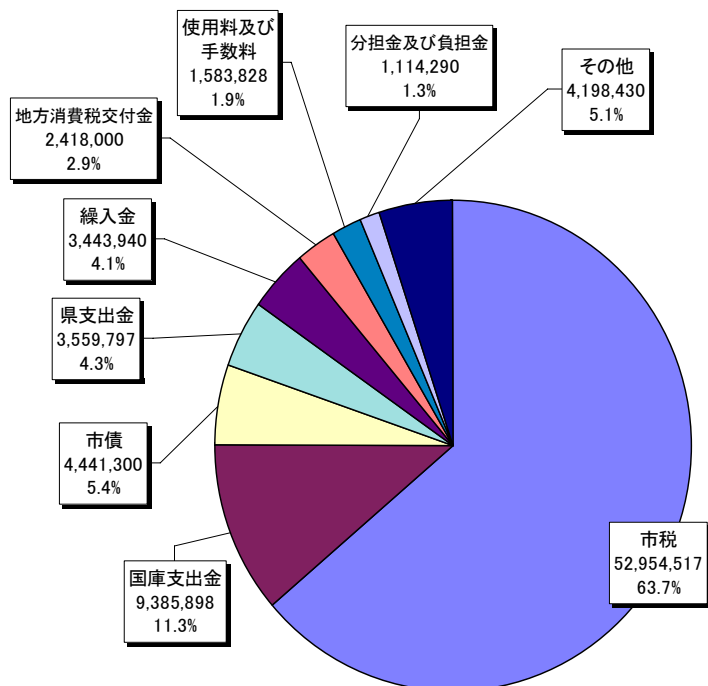
1.平成21年度所沢市一般会計当初予算の概要をお知らせします



平成21年度の歳入は、根幹となる市税収入が景気後退の影響により、法人市民税を中心に減収となっています。

一方歳出は、少子高齢化に対応した社会保障費の伸びや、小中学校の耐震化、元町北地区市街地再開発事業に係る費用などを見込み、予算規模は対前年度比1.8%増の831億円となりました。

(歳入 831億円)

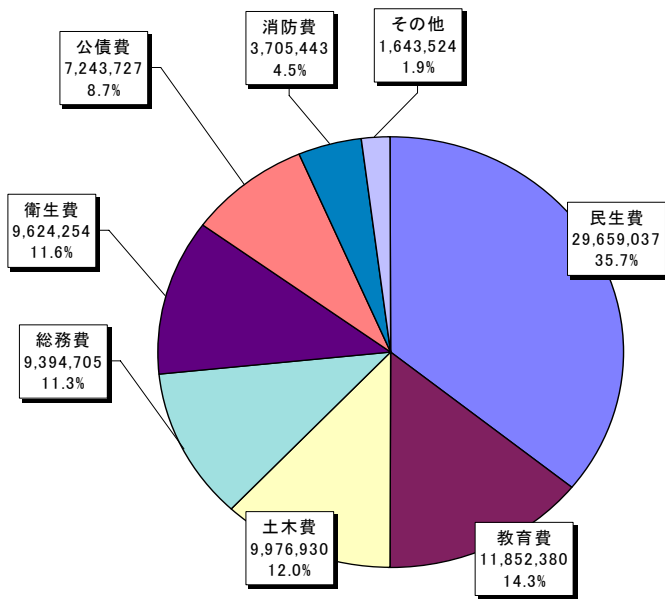


「歳入」のグラフは、お金の入りをあらわしています。

歳入で最も多いのは**市税**で、個人市民税、法人市民税、固定資産税ほか**みなさまに納めていただく税金**となります。

所沢市は**市税**が**歳入の半分以上**、今年度でいえば**63.7%**を占めているのが大きな特徴で、**自主財源**が多くある市であるということがいえますが、景気の悪化等により市税が落ち込んだ場合には、その影響を大きく受けることになります。

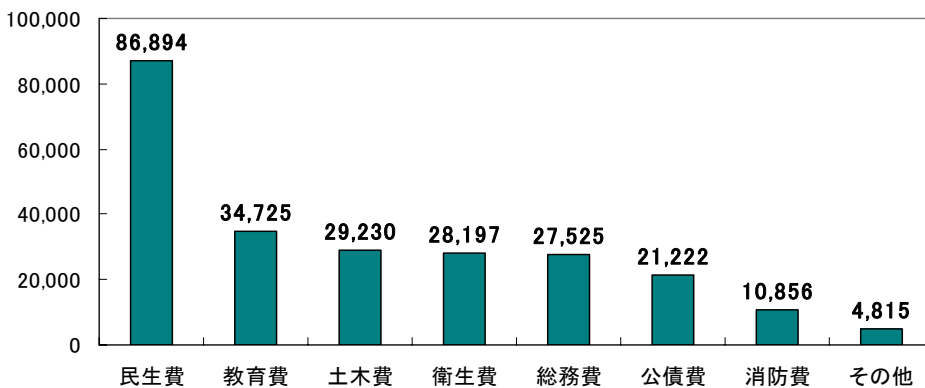
(歳出 831億円)



「歳出」のグラフはお金の出をあらわしたものです。

歳出のうち最も割合が高いのは、**民生費**で福祉に使われるお金です。2番目が**教育費**で、この2つで歳出予算の半分を占めています。**土木費**は道路や公園の築造、河川の改修などの費用です。**総務費**は総務関係の費用や徴税費用などです。**衛生費**は清掃や保健関係の費用及び緑の保全など環境に関する費用です。**公債費**は所沢市が借り入れている市債の償還のための元金と利子の費用です。

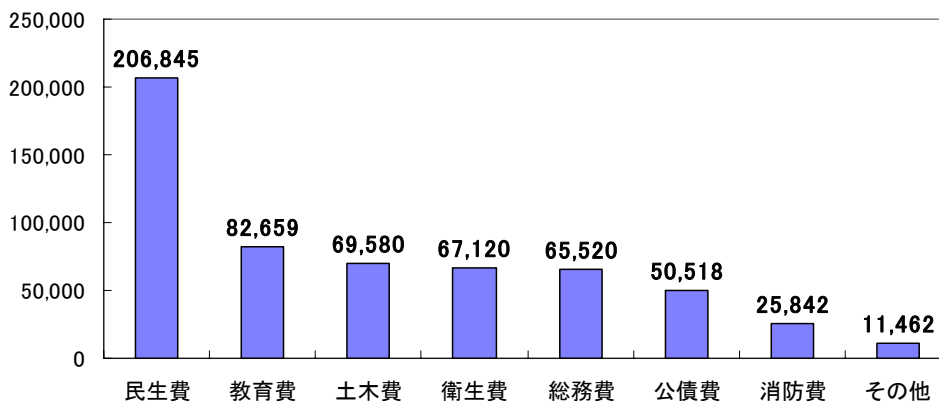
歳出 (一人当たり)



(単位:円)

	1人当たり	1世帯当り
民生費	86,894	206,845
教育費	34,725	82,659
土木費	29,230	69,580
衛生費	28,197	67,120
総務費	27,525	65,520
公債費	21,222	50,518
消防費	10,856	25,842
議会費	1,647	3,920
商工費	1,595	3,796
農林水産業費	763	1,816
諸支出金	358	852
労働費	306	729
予備費	146	349
災害復旧費	0	0
計	243,464	579,546

歳出 (一世帯当たり)



※世帯数及び人口は、平成 21 年 1 月 31 日現在の数値を用いています。

2. 平成 21 年度の新規事業をお知らせします

平成21年度の新規事業をお知らせします。新規事業の主なものとして、**元町北地区再開発事業の完成**に伴う、「中央公民館施設床取得購入・備品等整備事業」「図書館分館施設床取得購入・備品等整備事業」「元町北地区公共広場整備事業」や、平成21年度から23年度までの3年間で実施する「新所沢複合施設建設事業」があります。

広報とろざわ5月号には、校舎等大規模改修事業(耐震補強事業)9億714万円をはじめとした、**新規事業以外の重点事業が掲載**されておりますのでぜひご覧ください。

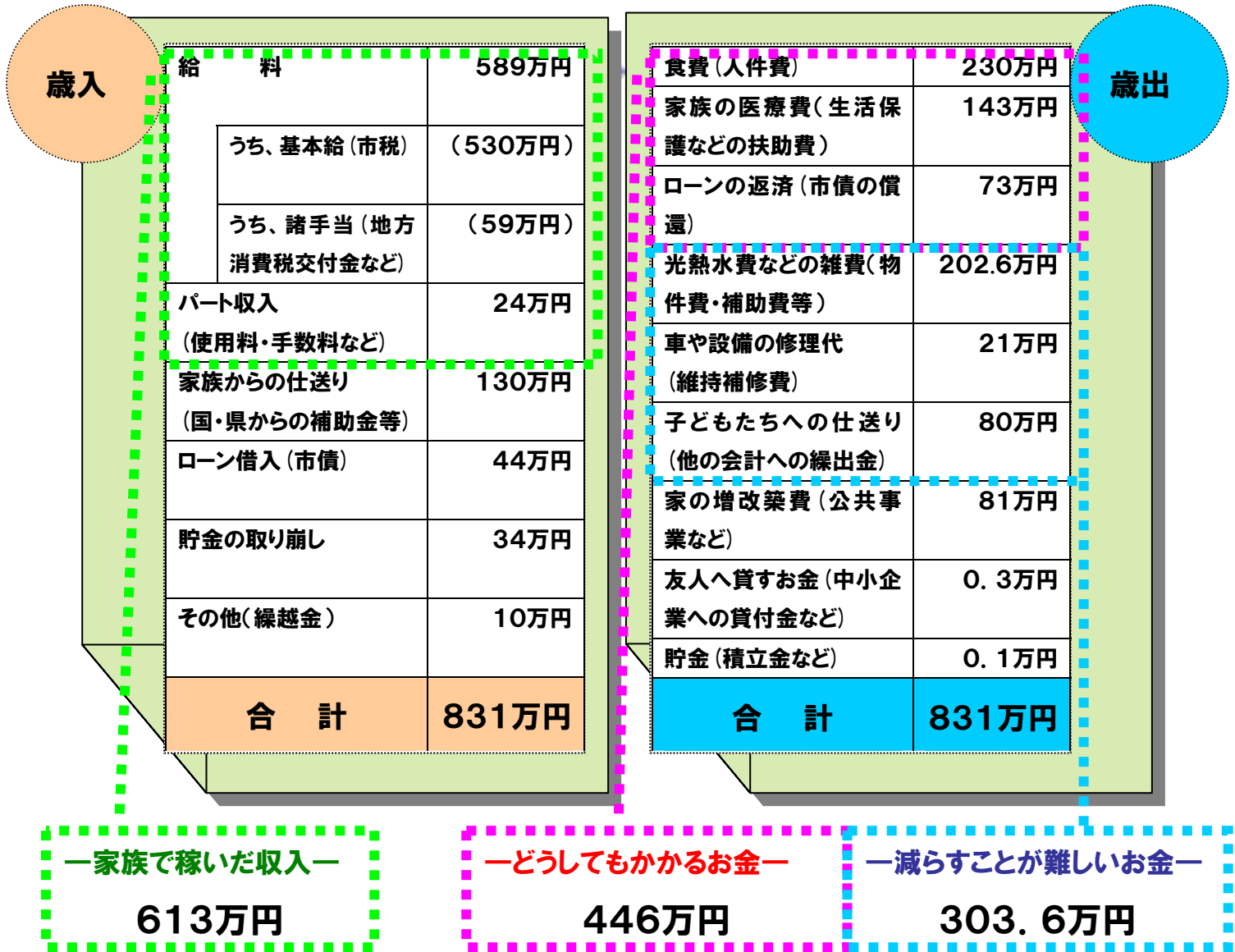
「Safety(安心) 生活が第一・あったか市政」		「Smile(笑顔) 子供たちに笑顔を！」	
高齢者交流・研修支援事業(高齢者福祉バス)	915 万円	所沢市医師会周産期医療対策事業 費補助金	700 万円
グループホーム等整備促進補助事業	625 万円	次世代育成支援行動計画策定事業	601 万円
「Soft(自然) 人と自然が共生する所沢」		市立保育園耐震診断事業	1,650 万円
第2期所沢市緑の基本計画策定事業	900 万円	所沢市保育園保育料収納対策事業	131 万円
再資源化推進事業(単一素材プラスチック等)	900 万円	(仮称)第2所沢児童クラブ施設整備事業	2,453 万円
廃プラスチック類混合焼却実証試験事業	2,595 万円	(仮称)第2美原児童クラブ施設整備事業	2,453 万円
市民活動支援事業	328 万円	中央公民館施設床取得購入・備品等整備事業	10 億 7,237 万円
元町北地区公共広場整備事業	5,828 万円	図書館分館施設床取得購入・備品等整備事業	4 億 4,931 万円
所沢出張所施設床取得事業	256 万円	新所沢複合施設建設事業	1 億 6,626 万円
元町地下駐車場施設取得事業	2,833 万円	「Save(節約) 生活者の目線で市役所改革」	
所沢商工会議所商工会館施設取得補助事業	2 億 6,746 万円	第5次所沢市総合計画及び(仮称)まちづくり基本条例制定事業	982 万円
農地基本台帳及び農地地図情報システム導入事業	600 万円	施設命名権導入事業	182 万円
景観条例(案)・景観計画策定事業	1,000 万円		
市道4-737号線外(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	600 万円		
上新井地区等町名地番整備に伴う住所・本籍表示変更事業	1,197 万円		

3. 所沢市の予算を「家計」にたとえてみると……………



所沢市の1年間の収入と支出を**家計簿**にあてはめてみましょう。

家計と市の会計では、お金の使いみちも規模も違うので、単純に区分できないところもありますが、平成21年度予算を**年収831万円の所沢家の家計**に例えてみました。



上の表は、家族で稼いだ収入だけでは生活していけないことを示しています。食費(人件費)、家族の医療費(扶助費)、ローンの返済(市債の償還)は、「**義務的経費**」とよばれています。これが多いということは、一般家庭のエンゲル係数が高いことと同じで、**家計にあまり余裕がない**ことを示しています。所沢市の場合、この3つで全体の**53.7%**を占めています。さらに、光熱水費などの雑費(物件費・補助費など)、車や設備の修理代(維持補修費)、子どもたちへの仕送り(繰出金)を加えると全体の**90.2%**にまで達してしまいます。

貯金を取り崩しながら、なんとか家計のやりくりを行っているのが現状です。

